



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(10月16日時点)

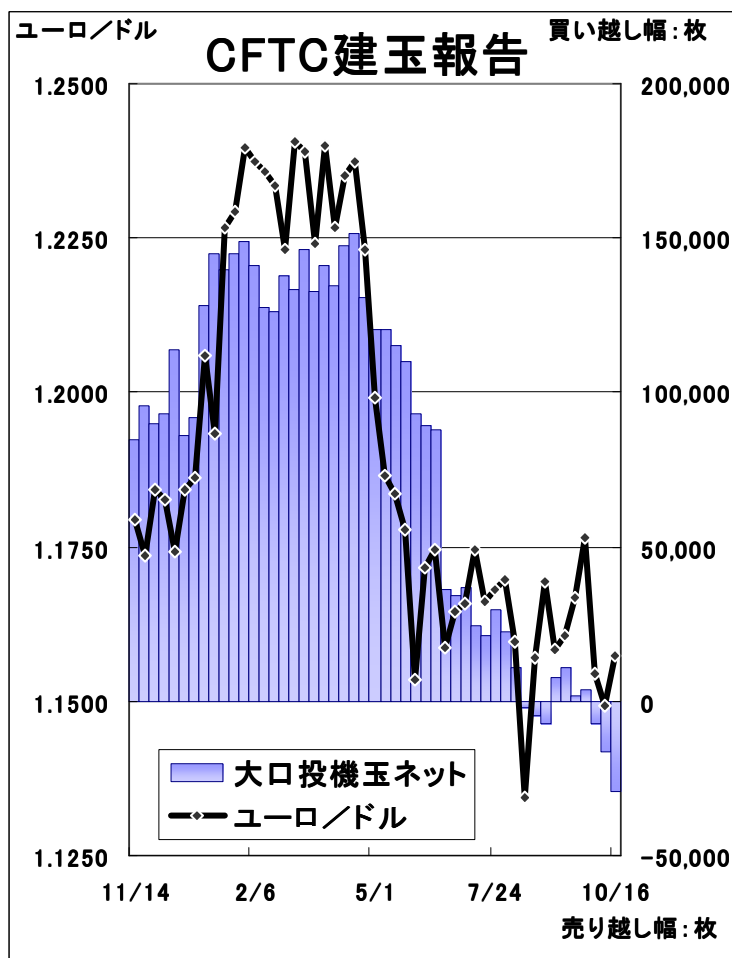
米商品先物取引委員会(CFTC)が10月19日に発表した建玉報告によると、16日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、10万0621枚となり、前週比1万4580枚縮小。投機筋は売り買い共にポジションを減らした。

期間中の円(対ドル)は上伸。10日のNY株式市場が、米長期金利の上昇による企業業績の悪化懸念を背景に急落したことをきっかけに、11日はアジアや欧州でも軒並み株価が下落。世界的な株安連鎖となったことで、安全資産としての円買いが優勢となった。その後は、世界的に株価が反発したことで、投資家のリスク回避姿勢が後退し、安全資産としての円買いは一服。中国税関総署が12日に発表した9月の貿易統計で、米国向けの輸出から輸入を差し引いた対米貿易黒字が前年同月比21%増と、単月として過去最大を記録した。これを受けて、米中「貿易戦争」は既に始まっているものの、今のところ中国経済には直接の打撃は及んでいないとの見方なども浮上したことで調整の動きとなった。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉の売越幅は、2万9344枚となり、前週比1万3202枚拡大。

11日に公表された欧州中央銀行(ECB)理事会の議事要旨で、ECBによる政策正常化の姿勢は変わらないことが示唆され、ユーロは上昇。ただ、16日にイタリア連立政権は2019年度予算案が議会承認されたが、欧州連合(EU)財政規律から大幅に逸脱する内容だったことで、欧州連合(EU)の執行機関である欧州委員会との対立が深まるとの懸念から、上げ幅は縮小した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
07/10	111.26	-39,832	1.1747	24,357
07/17	112.85	-58,650	1.1662	21,407
07/24	111.19	-73,769	1.1682	29,640
07/31	111.75	-68,457	1.1696	22,825
08/07	111.37	-62,807	1.1598	10,565
08/14	111.14	-58,368	1.1343	-1,789
08/21	110.22	-47,406	1.1571	-4,841
08/28	111.17	-46,041	1.1694	-7,219
09/04	111.45	-51,932	1.1582	7,963
09/11	111.56	-53,886	1.1606	11,170
09/18	112.33	-63,755	1.1667	1,666
09/25	112.94	-84,719	1.1766	3,696
10/02	113.65	-114,046	1.1546	-7,101
10/09	112.94	-115,201	1.1493	-16,142
10/16	112.28	-100,621	1.1573	-29,344
前週比	-0.66	+14,580	+0.0080	-13,202



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。